

2020～21年度
国際ロータリーのテーマ



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1549 / 2020. 10. 23

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2020～2021 年度クラブテーマ
会長 熊本 誠司

「学び、理解し、楽しむロータリー」

本日の例会：2020 年 10 月 23 日 通算 1575 回 本年度 第 14 回
卓話：『アスリートデータベースによる現役～セカンドチャンスの支援』
株式会社 WorldTryout 代表取締役 加治佐 平 氏

● 第 1574 回 例会報告 / 2020 年 10 月 15 日

ガバナーとの懇談会

出席報告：会員 47 名 29 名 (内 ZOOM 8 名)
ゲスト：イミン 計 1 名 (敬称略)

卓話：「考えましょう地球環境」
RI2750 地区ガバナー
福原 有一 氏



10月15日 13 件 48,000 円 累計 327,000 円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

会長 斎藤勝利・幹事 山田善則(東京南RC)/会長 加藤千博・幹事 瀬野泰崇(東京麻布RC)/会長 熊本誠司・幹事 コンシニ(東京赤坂RC)/河邊幸夫/高須康有/福田栄二/谷口友保/鶴飼光美/長谷川毅/関陽一/森本勝好/関野雄志/坂口鉦平



福山赤坂RC、赤坂RC Zoom 会議 第2回

■日時 2020年10月12日 17時～17時30分

■出席

福山赤坂ロータリークラブ : 会長 原隆之 幹事 平井啓博 委員長 下宮鉄雄
オブザーバー: 岡田祥平

東京赤坂ロータリークラブ : 会長 熊本誠司 (幹事 コンシニ・ティエリ) 委員長 金山驍

■議題

①名簿の交換について

名簿交換については、両クラブの理事会で承認された。

東京赤坂RC: 名簿には、氏名、職業情報を掲載するが、職業分類では職業がわかりにくい点もあるため、会員の皆様に職業詳細(1行程度)を記載してもらう。

②交流会のあり方について

2ヶ月に1回程度、重くならない程度でZoom交流を行う。テーマを決めて開催する。

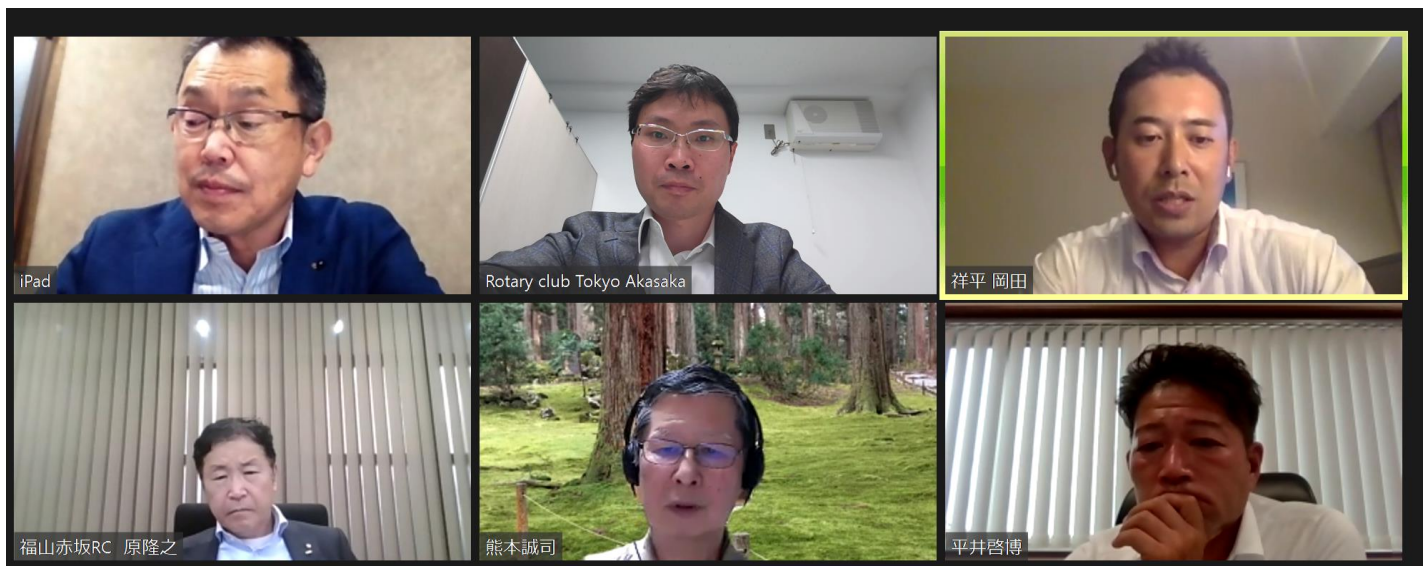
(案として、「職業奉仕について」、「周年事業について」(次年度会長・幹事の事前顔合わせ)等が出たが、姉妹クラブ委員会で要検討。))

③卓話情報の共有

福山赤坂RCでは、例会に参加できない会員のためにyoutubeで配信している。(例会出席とみなしている)相互交流の一環として、福山赤坂RCのyoutubeを赤坂RCの会員が視聴できるように理事会で確認を行う。

東京赤坂RCの方では、例会へzoom参加はもちろんのこと、zoomを録画し、リアルで参加できない福山赤坂RCの皆様に視聴してもらうことが可能か理事会で確認する。

その他、交流を深めていくための施策として、お互いの週報の交換などのアイデアが出ていた。



今 後 の 予 定	日 付	開始時間 終了時間	場 所	事 項	内 容
	10月30日		休 会		
	11月6日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	クラブ協議会
	11月13日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話: イニシエーションスピーチ 関野 雄志 氏
	11月20日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話: 「未定」 株式会社 住環境計画研究所 代表取締役会長 中上英俊氏
	11月27日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話: 株式会社カンミ堂 代表取締役 末永 卓 氏

質問1. 日常生活（プライベート）の状況に変化がありましたか？

①大いにあった 16名 ②少しあった 10名 ③あまりない 3名 ④全くない 0名

- ・会社への通勤以外、基本外出はしない。外食を一切行っていない。
- ・テレワークは初めて、旅の制限も。
- ・子どもの在宅学習などが増え、家族で過ごす時間が増えたが、それほど大きな変化はなかった。
- ・まだまだ今まで通り感染予防には気をつけながら過ごしていますが、子供たちの学校も再開し、緊急事態宣言の時よりは通常に近い日常生活に戻ってきました。
- ・コロナ期間中にZOOMを活用し、九州地方で講演をした結果、今九州全域で仕事をするようになった。ほぼ九州への出張となっている。
- ・夜のお客様との懇親会がほぼ無くなり、家内と夕食を取る時間がサラリーマン生活を始めて以来、日常化しています。
- ・コロナ禍の渦中に大学病院で白内障手術を受けたが、事後に院内別病棟での感染者発生を知った。外出機会は減り、まとまった思索の時間が取れるようになった。
- ・不要不急の外出を控えた
- ・人との接触が減り、人と全く会わない状況です。全てにおいて自粛しています。
- ・運動不足のため、少し体重が増えました。
- ・コロナに罹患して、体力の衰えが酷くなりました。
- ・在宅勤務がほとんどで、Web会議が多くなり、かえって忙しいと感じる場面が増えた。
- ・移動時間が大きく減った。ミーティングなどがほとんどオンラインに。
- ・色々な方との面談が出来なくなった。特にビジネスでは、お客様との直接会っての面談が一切出来なくなった。
- ・会食の機会が減った（ほぼ無くなった）。
客先に出向くことが無くなり、ほぼ9割自宅での作業となった（以前は5割程度）
- ・4月、5月については、ほとんど在宅ワークとなりました。6月からは通常通り毎日出社していますが、クライアントとのミーティングは、それまではほぼ100%対面で行っていたのが、3~4割はZoomなどオンラインでのミーティングとなりました。
- ・眼に見えないウィルスへの対応は、細心の注意を払わねばならぬので、日常生活に変化が出るのは当然。

質問2. ビジネス（経営）状況に変化がありましたか？

①悪くなった 12名 ②変わらない 15名 ③良くなった 1名

- ・会社は3月第4週からテレワークを継続中、不要不急の外勤禁止、懇親会・会食の禁止。
- ・大きく売り上げに変動はないが、来年以降は大なり小なり悪影響を受けるだろうとは予測している。
- ・通常の対面的なビジネス活動が控えめになった反面、オンラインを使ったビジネスは業界全体的に徐々に定着してきており、以前より良くなっている面も出てきています。
- ・コロナ期間中にZOOMを活用し、九州地方で講演をした結果、今九州全域で仕事をするようになった。ほぼ九州への出張となっている。
- ・事業投資の回収時期が、予想より少なくとも数年先へ延期となりそう。
- ・現在の時点では変化なし
- ・テレワークにより人の行動が制限され、新規顧客獲得が厳しくなった。
- ・減ったお客様もいますが、逆に増えたお客様もいますので、収支はとんとんかと思います。
苦境に立たされているお客様もいるため、最大限のフォローをできればと思っております。
- ・建築が仕事なので、影響は少ないですが、企業の工事では、担当者がリモートワーク成ったりしていて、一度で会合が出来ず時間がかかっています。
- ・仕事していないので、回答できないが……。先日、前の職場から頼まれて会議に出ました。もちろんネットで。もともと参加者は職場外の人を中心でしたので、会場に集まらなくて済んだ分楽だったようです。仕事の仕方を見直す機会になったように思います。
- ・お客様との直接会っての面談が出来なくなり、そのお客様もエンドユーザーとの商談が出来なくなり、大規模な案件がすべて延伸となってしまった。
- ・対面の職種のため飲食店以上に制限を経験しています。
- ・ホテル業のクライアントの案件、株式上場案件でプロジェクトの中止、縮小がありましたが、現時点では幸いなことにあまり影響はありません。
- ・新規開拓営業がしづらくなるといった影響はありましたが、業績の落ち込みはとくにありませんでした。
- ・日本の経済活動だけでなく、世界の経済活動が多岐にわたって制限され、経営に多大の影響が出るのも当然の事、当社も予定を20~30%下回ったが、まだましな方と思う。